



■2026年4/17-24迄 上野の東京都美術館にて第75回流形美術会公募展が開催されました。今年で100周年の東京都美術館は東京文化会館の設計や西洋美術館(コルビジェ設計)を実施設計した巨匠前川國男1975年設計、日本初の公募併設美術館です。右側は『ワイエス展』が開催されている企画展棟、左側は公募展棟で周囲との環境共生のため高さを抑え、地階にエントランスが設けられています。外装は地震対策としての打込タイル。

■講評会や表彰式では審査委員長・勅使河原氏/美術評論家から両作共「その場の生活や時間など空気感・臨場感が的確に表現されている」などの好評価コメントを頂き、今後繋がるモチベーションになりました。また特賞受賞に加え来展者総数2500名対象の「私が選ぶ1等賞」でも昨年に続き1位に選ばれました。約一週間の開催中、積朋会メンバーをはじめ連日多数の方々に熱心にご高覧頂き温かい応援も頂戴し感謝いっぱいです。

■ご自宅の設計からのご縁で毎回あたたかいご支援を頂いている顧客のファミリー

■積朋会の皆様/敬称略
左端より山崎 (平野)
 淵上 安井 (白尾) 木村

■左端より戸津川(+ご友人)

■其他来展の
 皆様/敬称略 青木 鵜飼
 鈴木(俊) 鈴木(健) 畑野佐
 藤(芳)
 小島 太田 飯島ファミリー

75TH. RYUKEIKAI ART EXHIBITION 2026

東京都美術館公募展 特賞 受賞

安井敏夫

REPORT



■光と影の記憶 F80 特賞
 光は強ければ影もより
 深くなる/ゲーテ
 ベネチアは海運貿易で1300年
 に亘る繁栄・光と衰退・影と
 いう対比の歴史を辿ります。
 ナポレオン曰く世界で一番美
 しい広場と云われる
 サンマルコ広場を中心に寺院
 や街並を鐘塔からの俯瞰で描
 き広場に落とす影は心の機微
 を比喩的に表現

■混迷の摩天楼
 ニューヨーク M150
 1930年代 権威=高さを競うよ
 うにアメリカ繁栄期象徴のエ
 ンパイアステートビル447mと
 クライスラービル317m等の摩
 天楼群と混迷期のカーテン
 ウォールビルなど現代と過去
 の様相を対比的に表現した
 意欲作です

●伝統的なレンガ造ビルと空を切
 り裂くようなスカイスクレー
 群/パークアベニューからの遠景



■2026年6/10-14迄 練馬・中村橋の練馬美術館にて東京芸術劇場アトリエ開催以来4年ぶりの第3回安井敏夫個展が開催されました。
 今年の区長選の結果、建替計画が延期となった1985年開館40周年を迎える区立美術館です
 今年初めの会場申込・抽選・事前打合・様々な準備を経て新作を中心に45作品の展示となりました
 5日間の会期中、積朋会メンバーをはじめ連日多数の方々に熱心にご高覧頂くと共に温かい応援や評価も頂戴し感謝に堪えません。主なコメントは「美術館に永久展示してほしいくらい作品」「今までの展覧会で最上質な作品群」等結局トータル180名の来展があり昼食も摂れないほどの盛況ぶりでした



■戸津川(+ご友人)



■積朋会の皆様/敬称略 左端より 池田(白尾)岡部 木村 安井

■小学校クラスメイト女性群5名様

■其他来展の皆様/敬称略 吉澤 鈴木(俊) 鈴木(健) 畑野 佐藤(芳) 小島 太田 大村



サクレールへの道 晩秋のノルヴァン通り モンマルトルの階段 モンスニ通り昇降 オスマン様式の街並 ベルエボックの街灯 サクレールへの坂道 サンマルタン運河の出逢 晩秋の古い街並 路地裏の工房



雨だまりのヴァートルポール 夜のカフェ・モンパルナス 雨のサンリュステック通り 教会裏の広場 エッフェル塔遠望 モンパルナス昇降 オンフルー港街 ボンヌの船着場 ブロムナードデザンレ



ムーランルージュ アルヌーボー砦 ルネサンス復興の時 セーヌ河岸 街並 路地裏のガレージ シテ島の花市場 光と影の記憶 天空へ憧懐 運河の船着場 運河の太鼓橋 聖地の丘へ



老舗のピッツァリア 石畳の記憶 断崖の漁村 港への坂道 プロチダ島の漁港 柱廊のある運河 カナルグランデ 運河沿いのホテル カンボ広場 貴族の館 暈迷の摩天楼



運河沿の街並 カナルグランデの木橋 レントーレ教会 マジョーレ教会 マジョーレ教会 糸杉の陰陽 カサ・パトリオ「青の家」 カサ・ミラ「石切り場」 聖家族教会 ランブラン通り 聖家族の承継



■ナポリ、ベネチアなど海沿とシェナ、アッジジなど山沿の暮らし



■チンクエッテレー番人気の作品 パリ



■イタリア・フランス・スペイン・アメリカの街並と暮らしの風景 45作品

■お買上作品 パリ / ベネチア



■積水ハウス「旧夢工場」 トウモロース・ライフ・ミュージアム バスツアー REPORT

南代表を団長に戸津川、小島、安井の4名にて参加、加えて東京西支店/森山竹彦さんの懇切丁寧なアテンドを頂き、改めて積水ハウスのアップデートした「明日の住まいづくり」についてのアイデアやノウハウを一日みっちり勉強してきました(帰宅は夜の10時頃になり心地よい疲労がドットコムでした)

2026年6月5日金曜日9:30 新宿マイズタワー前から貸切バス2台にて出発。車中 概要・狙いなど事前情報を説明 11:00リフレッシュしたセレモニーホールに到着、プロモーションビデオの案内後いよいよ見学スタート



■フレキシブルβラボ・Be Tech館



■自然との共生をイメージしたウェルカムホール



■耐火防火性能・起震設備体感/営業担当者が専門的で技術的な情報をわかりやすく説明



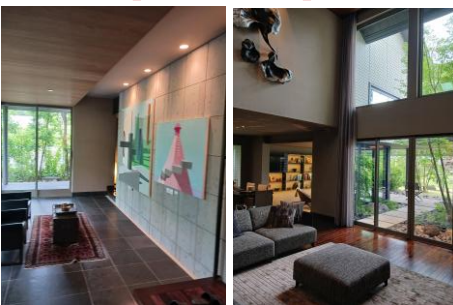
■食を愉しむ家/内藤さんち 鉄骨ダイニングウォール
四季を感じる中庭・テラスダイニング
■アクティブシニアの家/山本さんち 平屋の暮らし



■プロモーションビデオ後、いよいよ会場へ



■フレキシブルβラボなどの構造館では住まいを支える技術を詳しく判りやすく学べ体験できる仕掛けがきめ細かく備わっています
一方、7つのライフスタイルをテーマにした提案型モデルハウスでは多様な家づくりのヒントを設定し併せて五感で体感できるようになっています
いずれにしても未来へ向けて進化した積水ハウスの良さを理解し拡販に繋げましょう【紹介相談窓口】東京西支店 / 森山竹彦 070-6545-1422



■アートと暮らす家/柴門さんち こだわりの愛車



■大開口からの自然融合「開・閉のメリハリ感」



■クラブハウスにて美味しい牛肉弁当ランチ



■ツリーハウスが印象的な芝生の広場



■積水オーナーの焼肉屋さんで懇親を深める夕食会



■和の感性を大切にしたい家/ガブリエルさんち



■アウトドア好き3世代家族の家/外山さんち